

歴史的風致活用国際観光支援事業について

1 概要

国土交通省による支援事業のひとつで、広域観光周遊ルートの形成に向けた取組の一環として、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律に基づく歴史的風致維持向上計画認定都市において、受入環境整備に係るソフト・ハード両面の取組に対して総合的に支援することにより、歴史的風致を活用した都市の魅力の向上及び賑わいの創出を図り、地域活性化を実現することを目的とするもの

(1) 補助事業の対象

広域観光周遊ルートを形成する歴史的風致維持向上計画認定都市において、整備計画に記載された次の各号に掲げる事業とする。

- ア 歴史・文化を活用した訪日外国人受入のためのデータ収集・分析、目標数値のモニタリング等に係る事業
イ 周遊性の向上、固有の歴史・文化への理解を深めるための案内板等の多言語化、歴史的景観との調和に関するガイドラインの策定等に係る事業
ウ 言語や習慣の違いを踏まえた接遇の向上、外国語による案内のための歴史・文化ガイドリーダー育成研修等に係る事業
エ 地域資源の再発掘や磨き上げ、旅行者の満足度の向上を図るための歴史・文化を活用した訪日外国人向け体験プログラムの開発等に係る事業
オ 旅行者のニーズに応じた利便性の向上を図るための観光案内所、休憩所等の利便施設の機能向上等に係る事業

(2) 国の補助

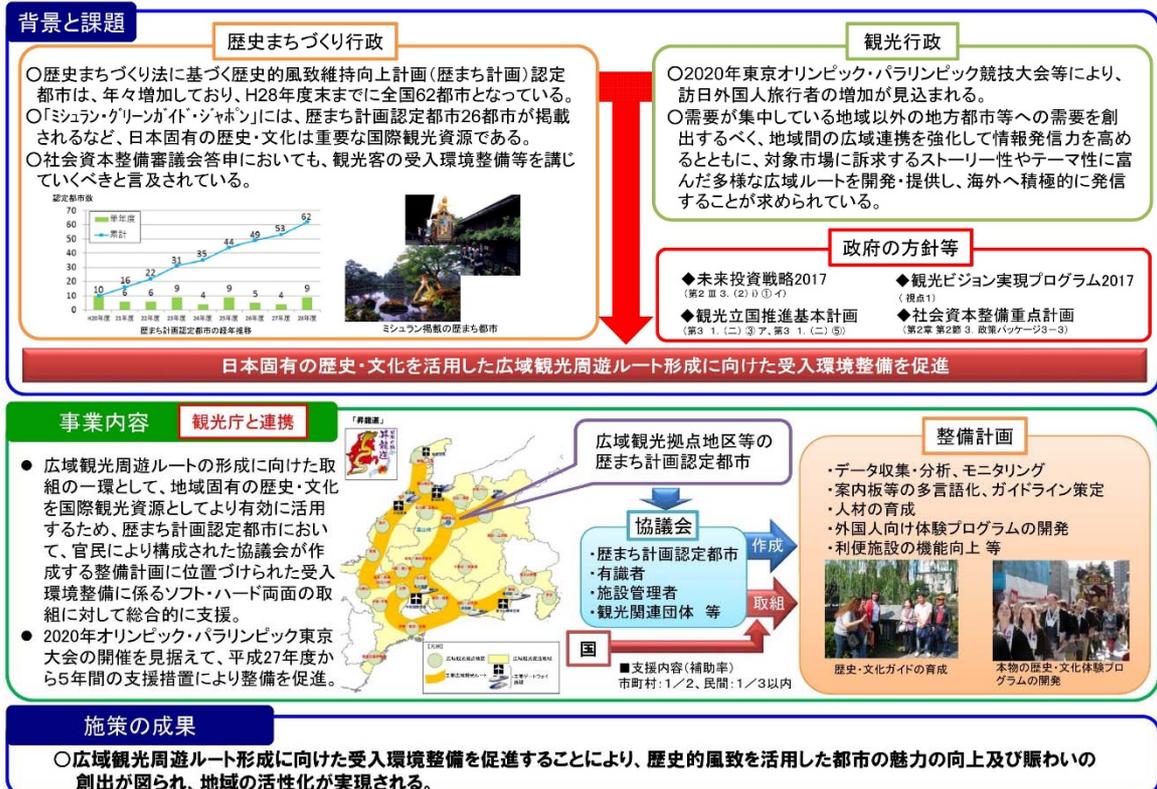
国は、整備計画に記載された補助事業に要する費用について、予算の範囲内において、当該補助事業者（市町村）に対し、その一部を補助することができる。

(3) 事業期間 平成27年度から平成31年度までの5年間

(4) 事業主体 市町村

歴史的風致活用国際観光支援事業の概要

参考資料



2 これまでの経過

日付		内容
平成 30 年	1/17	国土交通省関東地方整備局 建政部都市整備課から歴史的風致活用国際観光支援事業に係る平成 30 年度本要望について照会
	1/31	庁内で調査し「要望なし」として回答
	3 / 5 頃	国土交通省都市局 公園緑地・景観課から歴史的風致活用国際観光支援事業に係る平成 30 年度本要望（追加要望）について照会
	3/8	長野市歴まち計画重点区域 松代・若穂川田地区内の史跡旧文武学校における「藩校体験プログラム開発事業」について、文化庁の補助事業が活用可能か文化庁と協議しており、今後の文化庁との協議次第で当事業を活用させていただきたい旨を国土交通省都市局へ連絡、併せて事業概要の分かる資料を送付
	3/20	文化庁と「藩校体験プログラム開発事業」について協議 → 文化庁としては難しいことから、歴史的風致活用国際観光支援事業を活用していただいて構わないとの回答
	3/26	国土交通省都市局へ調書「藩校体験プログラム開発事業」を提出
	3/30	「藩校体験プログラム開発事業」H30 年度補助金の内定通知
	4/11	国土交通省都市局 公園緑地・景観課から歴史的風致活用国際観光支援事業に係る平成 30 年度本要望（再追加要望）について照会
	4/16	長野市歴史的風致維持向上協議会 委員へ意見聴取の依頼文発送 ・長野市歴史的風致維持向上協議会が、長野市歴史的風致活用国際協議会を兼ねることについて ・長野市歴史的風致活用国際観光整備計画（案）について
	4/20	国土交通省都市局へ調書「松代藩文化施設公式サイト多言語化事業」を提出
	4/23	委員からの意見聴取 締め切り（いただいた主なご意見は 3 ページ参照）
	5/1	平成 30 年度補助金交付申請（「藩校体験プログラム開発事業」）
	5/30	平成 30 年度補助金交付決定（「藩校体験プログラム開発事業」）
	6/18	「松代藩文化施設公式サイト多言語化事業」H30 年度補助金の内定通知
	7/26	協議会において委員へ意見聴取 ・「松代藩文化施設公式サイト多言語化事業」を整備計画に追記することについて、
7月末	平成 30 年度補助金交付申請（「松代藩文化施設公式サイト多言語化事業」）	

3 委員からの主なご意見

	内 容	ご意見
1	長野市歴史的風致維持向上協議会が、長野市歴史的風致活用国際協議会を兼ねることについて	<p>15人中11人から回答 11人が同意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月9日の会議ではまだ決まっていなかったのでしょうか。今回は急なことですが、会議の席で説明して欲しかったです。 ・基本的には同意。観光のプロも協議会のメンバーに入れてはどうか。（観光コンベンションビューロー、民間の意見）
2	長野市歴史的風致活用国際観光整備計画(案)について	<p>15人中11人から回答 11人が同意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風致を活用して海外からの観光客への魅力付けを行うことには大賛成です。 ・旧文武学校での外国人向け体験プログラムも大変ユニークで期待が持てると思います。 ・大筋では賛同いたしますが、実施するとなると、細かい点でいろいろと問題が生じるような気もします。 ・今回の事業はひとつだけですが、今後、他の事業も実施されるのでしょうか。他にも広がることを願っています。 ・歴史的価値のある街をもっと活用すべき。 ・ストーリー化して日本のなつかしさ、温かさを感じてもらうのは賛成。
3	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・善光寺や戸隠地区においても、同様の企画が立案されて、インバウンド戦略の有効な手だてになってくれればと考えます。 ・日本人が海外に旅行する場合、各々の国の法律や慣習を遵守することが求められています。同様に、外国人旅行者にも日本のマナーを知っていただくような、何らかの取り組みも必要かと思えます。 ・「同意」を書面で求めるのではなく、会議を開いて説明をし、意見を求めていただきたく思えます。 ・松代はインバウンド観光の可能性が非常に高いと思います。その中核となる文武学校本格的に活用できるようになることは、大変ありがたいと思います。 ・歴史的風致維持向上計画に係っている他の地区のPRも兼ねたパンフレットを作成し、宣伝して欲しい。周辺にも良いものがたくさんあるので、お客様が伝播するような事業にして欲しい。（歴まちの写真集など）

4 歴史的風致活用国際観光協議会

歴史的風致維持向上計画認定都市において、当該市町村並びに有識者、歴史的建造物等の施設管理者及び観光関連団体等により構成され、「歴史的風致活用国際観光整備計画」を作成し、整備計画に基づく事業の実施に係る連絡調整を行うための組織。

長野市では「長野市歴史的風致維持向上協議会」が「長野市歴史的風致活用国際協議会」を兼ねることとし、「歴史的風致活用国際観光整備計画」を作成する。

なお、歴史的風致活用国際観光整備計画に位置付けた環境整備事業が国の補助の対象となる。

5 長野市歴史的風致活用国際観光整備計画

4～7ページ参照

(様式)

長野市歴史的風致活用国際観光整備計画（変更案）

1. 計画策定の背景・目的
<p>長野市には善光寺とその門前町や城下町として発展した松代、山岳信仰集落をなす戸隠など数多くの文化的地域がある。</p> <p>その地域に受け継がれた歴史的資源を来訪者に体感し、楽しんでもらうことを通じて、長野市ならではの価値を提供し、何度も訪れてくれるリピーター「ながのファン」や訪日外国人観光客を獲得し、長野市固有の歴史や文化を活かしたまちづくりを進め、地域の活性化を図るもの。</p>
2. 計画期間
平成 30 年度～平成 31 年度
3. 広域観光周遊ルート形成計画との関連性
<p>「昇龍道」は日本の「まんなか」9 県の広域共通テーマである「サムライ」、「ものづくり」等をストーリー化して海外へ発信するとして平成 27 年 6 月 12 日に認定された。そのうちの Nostalgic コースにおいて、主要ゲートウェイ施設である長野駅をもつ長野市では、地域固有の門前町や城下町、宿場町のような日本の原風景を通じて、訪れる人が「なつかしさ」や「温かさ」を感じられる日本の心のふるさとを体験できる。</p>

4. 歴史的風致維持向上計画との関連性

「善光寺御開帳にみる歴史的風致」における善光寺御開帳では参拝者が回向柱を介して前立本尊とつながることができる。その回向柱は「水路と庭園にみる松代城下町の歴史的風致」にあげられる松代城下町から寄進され、善光寺門前町を經由し善光寺へ奉納される。

回向柱の奉納ルートには歴史的建造物が多く残り、地域固有の風情や情緒を醸し出している。そのような歴史的建造物を観光の拠点とする等、積極的な利活用を促進するための環境整備を行うことで歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

5. 協議会の体制

長野市歴史的風致活用国際協議会（長野市歴史的風致維持向上協議会）

6. 実施方針

- ・実施する際、細かい点等を調整して進める。
- ・市内の歴史的な建造物やまちなみをより活用するため、今回の事業をきっかけに他の施設、他の地区にも広がるよう検討する。

7. 事業名・概要

【種 別】 体験プログラムの開発

【事業名】 藩校体験プログラム開発事業

【事業主体】 長野市

【事業期間】 平成30年度～平成31年度

【事業内容】 訪日外国人観光客が気軽に日本文化の体験ができるよう、旧松代藩の藩校である「史跡旧文武学校」において、武道体験等の「藩校体験型プログラム」を開発するもの。長野市歴史的風致維持向上計画の重点区域「松代・若穂川田地区」にある「史跡旧文武学校」は、ほぼ全ての建物が開校当初の位置に現存しており、教育史上価値ある遺跡として、国の史跡に指定されている。

本事業は、実際に武道場を使い外国人向けの体験プログラムや多言語に対応する展示解説の整備を実施するもので、平成30年度に実施設計を行い、平成31年度に多言語対応の展示パネル等の作成、藩校に関する展示品及びレプリカの作成等を実施する。

【種 別】 体験プログラムの開発

【事業名】 松代藩文化施設公式サイト多言語化事業

【事業主体】 長野市

【事業期間】 平成30年度

【事業内容】 長野市歴史的風致維持向上計画の重点区域「松代・若穂川田地区」には「旧文武学校」、「旧真田邸」、「松代城跡」をはじめ、多くの文化財施設が集積しており、中でも「真田宝物館」では松代城下町に関連した多くの文化財を収蔵・展示しており、地区のゲートウェイ施設となっている。しかし、各施設のホームページや施設内の説明板等は日本語標記での紹介のみとなっており、外国人向けにはなっていない。

近年、外国人旅行者が増加していることもあり、施設の見所等を紹介したホームページを英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語に対応したものとするとともに、施設間の繋がりを紹介したルートガイド等を充実させ、松代地区内の回遊性の向上を図る。

8. その他

【担当者名】 長野市都市整備部都市政策課歴史的まちなみ整備室 林 由洋

電話) 026-224-8779

e-mail) toshisei@city.nagano.lg.jp

赤字：事業追加により追記

歴史的風致活用国際観光支援事業 事業概要①

- 【種 別】 体験プログラムの開発
- 【事業名】 藩校体験プログラム開発事業
- 【事業主体】 長野市
- 【事業期間】 平成 30 年度～平成 31 年度
- 【事業内容】 訪日外国人観光客が気軽に日本文化の体験ができるよう、旧松代藩の藩校である「史跡旧文武学校」において、武道体験等の「藩校体験型プログラム」を開発するもの。長野市歴史的風致維持向上計画の重点区域「松代・若穂川田地区」にある「史跡旧文武学校」は、ほぼ全ての建物が開校当初の位置に現存しており、教育史上価値ある遺跡として、国の史跡に指定されている。
- 本事業では、実際に武道場を使い外国人向けの体験プログラムや多言語に対応する展示解説の整備を実施するもので、平成 30 年度に実施設計を行い、平成 31 年度に多言語対応の展示パネル等の作成、藩校に関する展示品及びレプリカの作成等を実施する。

(整備イメージ)



弓道体験



写真撮影



剣道体験



写真撮影

タッチパネルによる歴史学習例 (参考)



体験型展示による
展示内容の充実

※安全に活用できる電気設備等の整備 (参考)



設備整備による
利活用の促進



レプリカによる
展示品の充実

歴史的風致活用国際観光支援事業 事業概要②

- 【種 別】 体験プログラムの開発
- 【事業名】 松代藩文化施設公式サイト多言語化事業
- 【事業主体】 長野市
- 【事業期間】 平成 30 年度
- 【事業内容】 長野市歴史的風致維持向上計画の重点区域「松代・若穂川田地区」には「旧文武学校」、「旧真田邸」、「松代城跡」をはじめ、多くの文化財施設が集積しており、中でも「真田宝物館」では松代城下町に関連した多くの文化財を収蔵・展示しており、地区のゲートウェイ施設となっている。しかし、各施設のホームページや施設内の説明板等は日本語標記での紹介のみとなっており、外国人向けにはなっていない。
- 近年、外国人旅行者が増加していることもあり、施設の見所等を紹介したホームページを英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語に対応したものとするとともに、施設間の繋がりを紹介したルートガイド等を充実させ、松代地区内の回遊性の向上を図る。

	改修・強化項目	目的	対象
1	現行WEBサイトの強化	モバイル端末からのユーザビリティ向上 現地開催イベントの情報発信力強化	現地にいらっしゃった外国人のお客様
2	現在の公式サイトの一部コンテンツを多言語化	場所・施設の周知 興味の誘引	旅行前の外国人のお客様
3	音声によるガイドの拡充	利便性の改善	旅行前の外国人のお客様 現地にいらっしゃった外国人のお客様
4	動画によるガイドの導入		旅行前の外国人のお客様 現地にいらっしゃった外国人のお客様